

○高志の国文学館条例施行規則

平成24年 7 月 5 日

富山県規則第43号

高志の国文学館条例施行規則を次のように定め、公布する。

高志の国文学館条例施行規則

(趣旨)

第1条 この規則は、高志の国文学館条例（平成23年富山県条例第41号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(入室時間)

第2条 高志の国文学館（以下「文学館」という。）の常設展示室及び企画展示室に入室できる時間は、午前9時30分から午後5時30分までとする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、知事の承認を得て、これを臨時に変更することができる。

(平28規則32・一部改正)

(特別観覧の承認申請)

第3条 条例第12条第1項の規定により文学館に展示し、又は保管している文学資料（条例第4条第1号に規定する文学資料をいう。第6条及び第9条において同じ。）の模写、模造、撮影等（以下この条において「特別観覧」という。）の承認を受けようとする者は、特別観覧をしようとする日の7日前までに、高志の国文学館文学資料特別観覧承認申請書（様式第1号）を知事に提出するものとする。

(平28規則32・一部改正)

(専用使用の承認申請)

第4条 条例第13条第1項の規定により文学館の施設の専用使用の承認を受けようとする者は、高志の国文学館施設専用使用承認申請書（様式第2号）を指定管理者に提出するものとする。

2 前項の申請書は、専用して使用しようとする日（次条第1項において「専用使用日」という。）の3月前から前日までの間に提出するものとする。ただし、指定管理者が文学館の施設の使用に支障がないと認めるときは、この限りでない。

(専用使用の変更)

第5条 条例第13条第1項の規定により文学館の施設の専用使用の承認を受けた者（次項及び第8条において「専用使用者」という。）は、専用使用日を変更しようとするときは、専用使用日の前日までに指定管理者の承認を受けるものとする。

- 2 専用使用者は、やむを得ない理由により当該承認に係る時間を超えて文学館の施設を使用する必要があるときは、あらかじめ指定管理者の承認を受けるものとする。

(平28規則32・一部改正)

(観覧料の減免)

第6条 条例第16条の規定により常設展示観覧料又は企画展示観覧料（以下この条において「観覧料」という。）を減免することができる場合及びその場合における減免の額は、次の各号に掲げる区分に応じ、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

- (1) 条例別表第1の1の表の備考に規定する者又は幼稚園の幼児の引率者が教育課程に基づく教育活動又は社会教育関係団体の教育活動として、常設展示室において展示している文学資料又は企画展示室において特別に展示している文学資料（以下この項において「常設展示等」という。）を観覧する場合 観覧料の全額
- (2) 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設に入所し、又は通所している者及びこれらの引率者が常設展示等を観覧する場合 観覧料の全額
- (3) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定により身体障害者手帳の交付を受けている者及びその付添人（当該交付を受けた者1人につき1人に限る。以下この項において同じ。）が常設展示等を観覧する場合 観覧料の全額
- (4) 療育手帳制度について（昭和48年9月27日付け厚生省発児第156号厚生事務次官通知）に基づき療育手帳の交付を受けている者及びその付添人が常設展示等を観覧する場合 観覧料の全額
- (5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定により精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその付添人が常設展示等を観覧する場合 観覧料の全額
- (6) 70歳以上の者が常設展示室において展示している文学資料を観覧する場合 常設展示観覧料の全額
- (7) 前各号に掲げるもののほか、知事が特別の理由があると認める場合 知事が必要と認める額

- 2 前項第1号又は第2号に掲げる場合における観覧料の減免は高志の国文学館観覧料減免申請書（様式第3号）を知事に提出することにより、同項第3号から第5号までに掲げる場合における観覧料の減免は身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の確認により、同項第6号に掲げる場合における常設展示観覧料の減免は同号に該当することを証するに足る書類の確認により、同項第7号に掲げる場合における観覧料の減免は別

に定めるところにより行うものとする。

(平28規則32・追加)

(駐車場を使用できる自動車)

第7条 文学館の駐車場を使用することができる自動車は、道路交通法(昭和35年法律第105号)第3条の普通自動車(積載物又は取付物を含めて、長さ5メートル以下、幅2メートル以下、高さ2.2メートル以下のものに限る。)とする。

(平28規則32・旧第6条繰下)

(原状回復及び点検)

第8条 専用使用者は、その使用を終えたときは、直ちに施設及び設備を原状に復するとともに、指定管理者の点検を受けるものとする。

(平28規則32・旧第7条繰下)

(施設等の汚損又は損傷の届出)

第9条 文学館の入館者は、施設、設備又は文学資料を汚損し、又は損傷したときは、直ちにその旨を指定管理者に届け出て、その指示に従うものとする。

(平28規則32・旧第8条繰下)

(高志の国文学館運営委員会)

第10条 高志の国文学館運営委員会(以下「委員会」という。)は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(平28規則32・旧第9条繰下)

(細則)

第11条 この規則に定めるもののほか、文学館の管理及び運営に関し必要な事項は、知事が定める。

(平28規則32・旧第10条繰下)

附 則

この規則は、平成24年7月6日から施行する。

附 則(平成28年規則第32号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成28年4月1日から施行する。

様式第1号(第3条関係)

高志の国文学館文学資料特別観覧承認申請書

年 月 日

富山県知事 殿

申請者 住所
氏名

次により、特別観覧をしたいので申請します。

題名	作者	点数
観覧希望日時	年 月 日 時 分から 時 分まで	
観覧の方法	模写 模造 撮影 熟覧	
観覧の目的		
備考		

様式第2号(第4条関係)

高志の国文学館施設専用使用承認申請書

No. _____

指定管理者 殿

申請日 年 月 日

申請者	団体等の名称		代表者氏名	
	住所		取扱者氏名	
	電話番号			

次により、高志の国文学館の施設を専用使用したいので承認願います。

使用室名	使用年月日	使用時間	使用料		附属設備料	
			基本使用料	超過使用料		
	年 月 日	時～ 時	時～ 時 円	時～ 時 円		円
	年 月 日	時～ 時	時～ 時 円	時～ 時 円		円
	年 月 日	時～ 時	時～ 時 円	時～ 時 円		円
使用目的(会議、行事等の名称)			使用料総額		円	

様式第3号(第6条関係)

高志の国文学館観覧料減免申請書

年 月 日

富山県知事 殿

住所
学校名(団体名)
代表者氏名
連絡先
電話番号
担当者氏名

高志の国文学館条例第16条の規定により次のとおり観覧料の減免を受けたいので申請します。

観覧日時	年 月 日() 時 分から 時 分まで					
観覧内容	1 常設展示 2 企画展示					
引率責任者	職		氏名			
観覧人員	引率者	人	小学生	人	計 人	
	一般	人	特別支援学校	人		
	高校生	人	小学校就学前の者	人		
	中学生	人	その他()	人		
観覧目的						
※減免する額	常設展示		円			
	企画展示		円			

備考

- 1 ※欄は、記入しないこと。
- 2 「観覧内容」欄は、該当する番号を○で囲むこと。

様式第 1 号 (第 3 条関係)

様式第 2 号 (第 4 条関係)

様式第 3 号 (第 6 条関係)

(平28規則32・追加)